

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市市長  
白井 邦文



### ■ 小野田・楠企業団地

広い1区画(現地の〇区画)に、徳島県阿南市に本社のある藤崎電機株式会社(従業員数139名)が近く進出予定です。事業目的はバイオマス発電。出力規模は2MW(2,000kW<sup>メガワット</sup>)。熱源は竹を主体としたものですが、高度な技術を要する竹のプラントは、世界的にも珍しい試みなのだそうです。

プラント管理者・運転者を含め、15名程度、新規雇用し、来年度中には操業を開始する予定です。嬉しいですね。将来的には関連分野での雇用拡大、さらには隣接区画を含めた規模拡大に期待したいですね。

創業者の藤崎稔会長は本市の出身。昨年10月から2代目耕治さんが社長になりました。藤崎会長にとっても、嬉しいリターンのはず。故郷で取り組む新たな事業への挑戦を、ぜひ成功させたいですね。市民のみなさんの応援をお願いします。

7月23日、県庁で、知事立ち会いのもと、調印式が予定されています。



### ■ 山口東京理科大学

東京の学校法人東京理科大学から、分校ともいべき山口東京理科大学について「廃校」か、本市の「公立化」かの選択を求められて約1年が経ちましたが、いよいよ7月21日から山口東京理科大学の公立化の当否について市議会(臨時会)が開かれます。議案は、公立大学法人の「定款」、学校法人東京理科大学から本市への「校舎・敷地等の寄付」およびそれらの本市から公立大学法人への「出資」の3つですが、これらはもとより、公立化の当否の判断が前提になります。

1週間後の28日の本会議で結論が出る予定です。

市民のみなさんには、初日と最終日の本会議はもとより、委員会の様子もぜひ傍聴してほしいと思います。本会議の様子はインターネット中継もされますので、こちらもどうぞご利用ください。去る6月に実施された山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会の会議記録が、議会のホームページ(<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/soshiki/64/rikadai2015.html>)に載っています。あらかじめご覧になっておいた方が、今回の臨時会の質疑も分かりやすいと思います。

みなさんも議員と一緒に、公立化の当否についてご検討ください。